奨励賞

●小学生の部

# ●中学生の部

奨励賞

夕映えが瞳にうる青い海空の青され 輪になってたいこに合わせ踊 青さとまじ ŋ

しんぼ 高橋珠莉亜(宮野目 鎌田瑠奈(宮野目中3年)高橋茜璃(矢沢中3年)

[中3年]

手をつなぐ親子のきずな見えてくる このちきゅうたすけあおうよ手をつなぎ 手のひらをじっと見てると「て」の文字だ

くしゅしてごめんなさいとなかなおり

桜咲くえがおも咲くよ友だちと新しい春のひざしの中に居る朝顔が朝一番にラッパふく

福岡怜治(花巻小2年) 笹木雄心(同3年)

ペットもねりっぱな家族の一員だ

トにもいのちがあるよ同じだよ

こまってもみんな助けるまほうの手

### 団体賞 ●作品募集の部 如月会

特選

夕月を畳の部屋に入れにけり 廃校を囲んでしまふ秋桜 祭果て祠をつつむ虫の闇 大花野今来た径の消えてをり

千田 中村陽子 馨。

浅沼久男

床下の闇を呼び出す夕ちちろ

安部克詠

当日

句

の部

小六月足の裏まで機嫌よく木偶の坊となるまで俳句一葉落

南部伊達つらぬく大河鳥渡る

選の水で炊き上ぐ今年米溜りの翅音はつかに花八

武田稲子 上野節子 上野節子 水 で イ 乗任子

豊山 れ 11

互選最高点句賞

百選の水で炊き上ぐ今年米

奨励賞

特選

●作品募集の部

特選 収穫が届く生命に愛重ね 未だ恋を知らない二人手をつ

佐々木勝子 あべ和香

及川洋一郎

図書館で探すわたしの句読点 人類が壊した空に稲が哭く

小田島花浪

鉛筆で書いた勝気が燃えている 及川洋一郎

特選

席題の部

●小学生の部 家の猫しょ分ギリギリ引き取った 戻らない橋の向こうに読む弔辞 小田島花浪

手がかりをいっぱいげっとかいけつだ 佐々木有里(花巻小4 川村香鈴(同3 年

かうならねりそうのペットさがしたい わたしはねトラをかうのがゆめなんだ さょうりゅうがペットだったらいいのにな 藤原歩(同4年) 三浦雪乃(同3年) 田村美結(同3年) 瀬川昊正(同4年)

田澤萌香(同3年) 山中杏奈(同3年) 小菅しゅら(同3年) 中田しょうご(同4年)

## 花卷市民合同文芸大会

生涯学習の発表の場として、ことしも開催された花巻市民芸術祭。11 月11日には、石鳥谷生涯学習会館で第11回文芸大会が開かれました。こ の大会の入選作品の一部を紹介します。

詩、随筆部門の入選作品は、市ホームページと、まなび学園ロビーで閲覧す ることができます。人選者の敬称と選者は省略

### 詩

●作品募集の部 芸術祭賞 パズル合わせ 要励賞 見えない奴 様作 俺は田舎の土百 番石海岸 番石海岸 土百姓 んぼ

佐々木美鳳(同1年)阿部悠(同1年)

・中学生の部

心 野 か 球 ボ ー

【随筆】

芸術祭賞 風船かず

伊藤諒子

記憶の許容量 顔と人生 阿部佐恵子 罰彬子

奨励賞

佳作

しそ巻き

熊谷敏子

歪んだ鍋底

藤原園子

髙橋一夫

本の実のいのちは長し南天は春の鳥らの飛び来るを待つ互選最高点歌賞 戸締りの落葉溜まりてカサコソと誘はれ開けし夜半の月か戸締りの落葉溜まりてカサコソと誘はれ開けし夜半の月かり悪たれどこの里にともに暮らせし姉はいまさぬ 真夏の日パンと音がしてみれば小さき命はばたいた時星の川空を流れてきらきらと君のもとへと舞い降りたならひまわりのような彼女の明るさは太陽よりもみんなを照らす部活動終ったあとの帰り道静かに映える夕暮れの月夕焼けは心にともる輝きでオレンジ色のきれいな瞳

中学生の部 賞

人位 おばあちゃん思う気持ちが隠し味百年祝う袖餅子が出来た地位 亡き母のかたみのコート身にまとひ教えをいまも忘れず思う天位 君のくれたメールの語尾の優しさに全てがちかくちかくなり。●作品募集の部

【短歌】

佐藤ク 多千 田美和7

長谷川かえで(同2年) 柳原結衣(同2年) 柳原結衣(同2年) 中2年)

菊池保絵(花巻北高) 鈴木ハツ 木下知子